



ネパールの料理ってどんなもの？

暑い日が続くとなんだかぐったり、食欲もなくなりがちですが、なぜだかスパイスの香り高いカレーがむしよりに食べたくなったりしませんか？

今回は、一宮市多加木でインディアン&ネパールレストラン「カレーナンハウス」を経営しているネパール人、ブサル・ゴビンダ (Bhusal Govinda Prasad) さんから、ネパール料理やマサラ (スパイス) についてのお話をお聞きし、ネパール料理をちょっぴり試食させていただきます。

ネパールの人たちは、様々なマサラをどう使い分けているのでしょうか？ 私たちの日常でも参考になるお話が聞けたらと思います。

ネパールは、中国とインドに挟まれた、標高 5000 メートルを超える高山から亜熱帯の平野までと変化のある国土に、30 以上もの民族が暮らすバラエティ豊かな国です。そのため料理もインドや中国、チベットの影響を受けつつ、地域ごと、民族ごとに違いがあります。とはいえ、一般的には「ダルバート」(豆のスープ・ライス) と言って、豆のスープの「ダル」、ライスの「バート」、野菜カレーの「タルカリ」、つけものの「アツァール」をセットにした料理が定番だそうです。

そして料理に欠かせないのがスパイスです。ネパールではスパイスのことを「マサラ」といいます。マサラは、ベサル (ターメリック、ウコン)、アドウア (ジンジャー、ショウガ)、ラッスン (ガーリック、ニンニク)、クルサニ (チリ、トウガラシ)、ダニア (コリアンダー) などをはじめとして、とてもたくさん種類があります。それらのマサラをいろいろ使って、ネパールではどんな料理を作っているのでしょうか？



◆いちのみや大学第講座「ネパールの料理ってどんなもの？」

- ・日時: 8月24日(火)午前9:30~11:00 (9:15受付開始)
- ・会費: 1000円 ・定員: 25名 (要予約)
- ・場所: カレー ナンハウス
一宮市多加木2丁目21-17 ウイズ1F
(tel 0586-25-6751)
駐車場 25台
- ・申し込み: ホームページから <http://ichinomiyadaigaku.com/r/>
インターネットをご利用でない方は、メールまたは、
電話・FAX(0586-72-5445)にてお申し込みください。
- ・申し込み締切:
8月23日(月)午後5時まで。キャンセルの場合も同様。
※お問い合わせは、有限会社人の森気付け
いちのみや大学事務局 TEL:0586-72-5445
メール: info@ichinomiyadaigaku.com までお願いします。



いちのみや大学ってどんなもの？

◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

一宮の街をまるごとキャンパスにして、自分たちで生涯学習の場をつくらうというものです。

いちのみや大学の講座は、地域の人たちから講師を発掘することから始まります。

一宮市は、古くは尾張の国一宮として栄え、近代は繊維の街として、ガチャマンと呼ばれおいに沸いた時代もありました。古墳・城跡などの歴史的な遺跡や伝統的な祭り、また喫茶店のモーニングサービス、七夕祭りなど、さまざまなカルチャーが存在します。

人口も38万人となり、一宮には様々な知識や技術を持った人たちがいると思います。そうした市民を発掘し、市内の様々な場所で、市民が受講料を払って授業を受けようという仕組みです。

そして地域の人に講師をお願いすることにより、地域を活性化し、受講者と講師との間に新しい繋がりが生まれることを期待しています。

いちのみや大学はどなたでも参加できますので、どうぞお気軽にご参加ください。

◆参加方法

① いちのみや大学のホームページ <http://ichinomiyaigaiku.com/> からの申し込み
学生登録のページで学生登録(受講者登録)をしておき(無料)、その後、各講座情報のページにおいてログインし、受講したい講座に受講の申し込みをします。

② インターネット環境がない、もしくは不慣れな場合

電話/fax 0586-72-5445(平日 10時から17時)

メール info@ichinomiyaigaiku.com

でも受付しています。

※受講料は講師謝金や会場費などの必要な経費を考慮して講座ごとに決定しています。それぞれの講座情報をご確認ください。

◆これまでの講座

- ・芸術学部 デジタルカメラ入門・一眼レフカメラ講座(会場:つくる。)
バイオリンの魅力を探る・アフリカのとんぼ玉・織部亭亭主のお話(会場:織部亭)
野の花の大島八重子さんのお話とシャンソン(会場:野の花)
西アフリカの音楽～太古の響きジェンベの音色(会場:スポ文)
後藤泰洋&大島誠二 現代アートを語る(会場:織部亭)
ジャズピアニスト、ナタリー成田のアフタヌーン・ミュージックカフェ(会場:織部亭)
- ・社会福祉学部 一宮のホームレス支援とその現場(会場:アバンセ)
- ・国際学部 イングランドのパブ文化(会場:本町)
- ・歴史学部 江戸時代の一宮の村社会(会場:スポ文)
のこぎり屋根の織物工場見学と玉の井散策(会場:葛利毛織)
妙興寺を体感する(会場:妙興寺)
美濃路・起宿と湊屋(会場:湊屋)

◆これからの講座

理学部 プラネタリウムのしくみを知ろう！(一宮地域文化ひろばプラネタリウム館)

◆いちのみや大学のちらしを置かせてもらっている所

織部亭、野の花、さかな、フリークル、市役所(含木曾川、尾西)、ちゃらん家、市民活動支援センター等



「いちのみや大学」は、市民による「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局(有限会社人の森内)

一宮市夫和町宮地花池字中道4 ~~アートメゾン~~ 103号

tel/fax:0586-72-5445 mail: info@ichinomiyaigaiku.com